

板野中学校 同和教育だより

MY SKY 第9号
マイ・スカイ

2001年10月2日(隔週火曜日きまぐれ)発行

p(>_<)q

発行者

編集・文責
聡吉成正士

今月から、いよいよ今年度の残り^{はんぶん}半分をスタートすることになります。つまり今の学年、今の学級でいられるのも、あと半年^{はんとし}ということなんですね。ということは、3年生は実質^{じっしつ}残り5ヶ月^{ぼと}程になったということです。本当に早いものです……。

ところで先だって行われた板中文化祭。本当に素晴らしい文化祭だったと思います。中でも、本当の意味において「文化」祭と成り得たのは、合唱コンクールがあったからではないでしょうか。それぞれいろんな思いがあるでしょうが、本当にお世辞^{せじめ}抜きで、どのクラスも一致団結^{いっちだんけつ}したステキな歌声^{うたごえ}だったと思います。

10年前、私が板中に来た頃、生徒のみなさんの歌声は本当に小さく、寂^{さみ}しいものでした。音楽の授業も、集会の校歌も、式の斉^{せい}唱^{しょう}も、申しわけ程度^{ていど}の声しか出ていませんでした。みなさんは、どうしてそんなだったと思います？実は大きな理由に、「いじめ」があったからなのです。真面目^{まじめ}に一生懸命^{いっしょうけんめい}歌おうとすればするほど、つついたり、笑ったり、バカにしたり、にらんだりする生徒が一部にいたのです。一部ですから、本当はいじめる側^{がわ}が小さくなくてもよかったのですが、いじめられるのが恐^{こわ}かったのか、ほとんどの生徒が歌わなくなっていたのです。安心して歌えなくなり、歌わない雰囲気^{ふんいき}が広がっていたのです……。

そんな状^{じょう}態^{たい}を放^{ほう}っておくわけにはいきません。私たち教員^{おし}は、折^{おり}にふれ、当時の生徒たちにいじめや差別をすることの卑劣^{ひれつ}さについて訴^{うた}えていきました。その中心^{しんしん}的な取り組みが、全体学習^{しんがく}だったといえます。そして実際にいじめにあっている生徒たちが全体学習^{しんがく}の場で立ちあがり、人をいじめること^{ふとうせい}の不当性を、歌を当たり前^{あまえ}のように一生懸命^{いっしょうけんめい}歌うことの大切さを、訴え始めたのです。全体学習^{しんがく}の回数を重ね、訴える回数も重なり、次第^{かさ}にいじめは少なくなっていきました。そして最後には、心からの歌声を卒業式^{そつぎょうしき}の場で聞くことができました。

当時の先生方^{せんせい}の間でさやかれていた言葉。それが次の言葉でした。

歌を、心から精一杯^{せいいつぱい}楽しんで歌えることは、同和教育の大切な土台^{どだい}の一つだね

そんな思いがあるからでしょうか、余計^{よけい}に今年の文化祭のみなさんの姿がうれしく感じられたのです。年を追うごとに盛りあげていくくれた先輩^{せんぱい}のみなさん、生徒たちと一緒に盛^{いっしょ}りあげた学級担任^{がくしゅ}の先生方、サポート役^{やく}として舞台裏^{ぶたいうら}で支^さえてくれた先生方、そして最後まで奮闘^{ふんとう}してがんばっていただいた金子先生^{かねこ}と実際にがんばった生徒のみなさんに、感謝^{かんしゃ}の気持ちと拍手をおくりたいと思います！また板野郡音楽会に出場するみなさん！板野中学校代表^{せんぶん}として、思う存分^{もんぷん}、元気いっぱい^{げんきいっぱい}に歌ってきてください！板野の空から、全校生徒・教員で精一杯^{せいいつぱい}のエールをおくっていますから！

5ヶ月後には、1年間の最大イベントの一つ、卒業式が行われます。今の盛りあがりのまま、さらに互いの絆^{たが}を確かめ合^{きずな}って、本当に思い出深い学級・学年にできればと思います。そして、その時はみんなで、心から精一杯の歌声を、体育館に響^{ひび}かせましょう！



第6回部落解放徳島県学習会中学生集会(8月28日：徳島県郷土文化会館)

もう一ヶ月以上も前のことですが、夏休み中の学習会の大きな3つの行事について、少しふれておきたいと思います。

1、板野町学習会夏休み小・中合同一泊研修

7月30日(月)・31日(火)

香川県五色台少年自然の家ほか

2、第6回部落解放徳島県学習会中学生集会

8月28日(火)

徳島県郷土文化会館

3、解放子ども会県内交流一泊研修

8月29日(水)・30日(木)

兵庫県国立淡路青年の家

「1」は、板野町内の小・中の学習会が合同で行ってきたのですが、本当にいい交流の場となりました。一方で、「夜の集い」と題して中学生だけで集まり、県奨(部落解放徳島県高校奨学生集会)に参加しての話や、学校での部落問題学習・出来事について、日頃感じている不満や問題点について幅広く話し合うことができました。

- * イキイキと部落差別と向き合い、活動している高校生の姿に感動し、自分もあんなふうになりたいと思った。
- * 学級での部落問題学習のとき、意見があまり出ず、みんなが何を考えているのかよく分からなくて不安を感じることもある。
- * 学校で「部落差別」と感じる出来事があり、辛い思いをしたことがある。 など……

そしてその盛りあがりは、「2」の中学生集会へとつながっていききました……。

「YOUNG CHAIN(若い絆) ～青空の向こう、明日には笑えるように～」のテーマのもと、県内外24校の学習会の仲間が集い、活発な意見交換や交流を行ったわけですが、その中でも午前の全体会で初めにテーマとなったのは、学習会そのものについてでした。

「学習会のことを家の人がどう思っているのか？」

- * 「学習会に行かない」と親に言うのと、「あかん！学習会行って来い！行って勉強したり、差別と闘う仲間をつくってこい！」と言われる。
- * 「学習会なんかには行かなくていい」と親に言われ、苦しい思いをしながら学習会行

事に参加している。

*今までそんな話はしてみたこともない。一度じっくりしてみようと思う。

など、さまざまな意見が聞かれました。このテーマについては、部落であろうとなかろうと、全員の課題としてそれぞれの家庭で話し合ってもいいこと、いや話し合わなければいけないことではないでしょうか。

次にテーマとして話し合われたのは、恋愛・結婚についてでした。現在、部落差別を象徴する最大の課題は、結婚差別だといわれています。では実際にその場に出くわしたとき、どう対処すればいいのでしょうか・・・残念ながら、そのような学習はほとんどされていません。でもその

不安を感じている人も、少なからずいるのではないのでしょうか。このテーマについて具体的にどうすればいいのか、全体会場を挟み、二人の発言者がやりとりを行ってくれました。

- *将来異性^{いせい}とつきあうとして、部落出身だということを言わなければいけないのか。言う^うとすれば、どのタイミングで言えばいいのか？
- *「部落出身だ」と言わなければいけないという決まりはどこにもない。かといって、いくらなんでも、いきなり「部落出身だけどつきあってくれませんか？」とは言わないと思う。

「部落差別ない社会を」

県郷文で 250人が討論・学習
中学生集会



徳島県内の中学生が部落差別の解消方法などについて話し合う「部落解放徳島県学習会中学生集会」(同実行委員会主催)が二十八日、徳島市内の県郷土文化会館であった。香川県内の一校を含めた。計二十四中学校の生徒約百八十人と、教職員や同和教育関係者ら約七十人が参加。実行委員長の男生徒が「部落差別の問題点について語り合い、差別が完全になくなる社会をつくろう」とあいさつした。

同集会は、部落差別の解消へ向けた学習会活動を行っている中学生が、一九九六年から毎年一回開いている。

切だ」などと意見発表。午後からは四会場に分かれて活発に意見交換した。

各校の代表者が、地域や学校などで取り組んでいる学習会の活動状況を報告した後、男生徒二人が差別の実態などを紹介しながら「多くの人が家庭や地域などで同和問題について話し合い、問題意識を高めることが大切だ」などと意見発表。

部落差別の解消を目指して、活発な意見が交わされた「部落解放徳島県学習会中学生集会」——県郷土文化会館

この後も分からないところを詳しく聞き合っていたので、周りの参加者にとってもすごく分かりやすく、また和やかにさせてくれるひとときとなりました。

また、昼からは4つのグループに分かれて話し合いを行ったのですが、私が参加した分散会では、「部活動の仲間と学習会や部落問題について心が許し合っているか」というテーマ

が出ていました。

*学習会のことを部活で言うと、とたんに自分を見る目が変わったように思える。学習会行事で休むときも、冷めた雰囲気を感じる。

*学習会で部活を抜けるとき、ほとんどの仲間が励まし、送り出してくれる。

聞いていて、「学習会に対する正しい学びや学習会の仲間に対する理解は、まだまだなんだな……こんな中、不安を感じずに生活しろって言う方がおかしいなあ……」と感じました。本当に考えさせられることの多い学習会中学生集会でした。でも、「まだまだこれから！もっとやっていかなあかん！」と力が湧いてきたことも確かでした。私を含め、参加者だけが問題意識を持つのではなく、このマイスカイを読んだすべての人が問題意識を持ってもらえればと願います。

「3」では、板野町・徳島市・小松島市・阿南市の3市1町の被差別部落の小・中・高校生が集い、活動や学習を体験しながら互いの絆を深めていきました。

これら3つの活動などは、「部落差別をなくすためには『部落問題についての学習』と、『反差別の仲間づくり』が必要である」として、地域住民の代表者などが行政(国県市町)に働きかけ、要求し、行政もその必要性を認めて得られた貴重な運営費をもとに活動しています。つまり、「正当な運動あるところに資金あり」なわけです。「いいなあ」とねたむのではなく、「あつて当然」とふんぞり返るのでもなく、実際に運動した人々に感謝しながら、謙虚に活動し、学びたいものです。

以上、夏の学習会行事の報告でした！



■劇「SEASONS II」は、10月13日に第2回中学校中部ブロック演劇交流会(石井町中央公民館)で再上演されます。他には藍住東中学校や石井中学校、吉野中学校も一緒に演劇を行います。他校の劇を見るのも、なかなか楽しいものです。生徒のみなさんは学校登校日なので観には行けませんが、人権部のみんなと共に、楽しくがんばってきますね！なお、文化祭での感想文はまだ十分に読めてないので、もうしばらくお待ちください！ ■今年度の全体学習の一番手として、1年生が学習を始めているところですが、思う存分、感じたこと、思ったことを、素直に発表してみてください！それが基本です。ガンバロー！ ■修学旅行をひかえて、2年生は準備に大忙しですね！平和学習としていろんなことをたくさん学んで来てください。「事実」もそうですが、その中に生きてきた人々の「思い」を、是非感じてきてください！



10月6日(土) 13日の代休、第6回部落解放徳島県学習会中学生集会実行委員会執行部会(14:00～;同封センター)

12日(金) 3 A (技術家庭の研究授業)以外は臨休(徳島県中学校教育研究大会)
13日(土) 登校日(6日の代わり), 中学校中部ブロック演劇交流会(9:00～;石井中央公民館)
16日(火) 1年D組全体学習(5・6校時;体育館)
17日(水)～20日(土) 2年生修学旅行
18日(木)・19日(金)・21(日) 第52回徳島県同和教育研究大会(終日;徳島市内)
20日(土) 3年生進路を考える集い(午前中;体育館)
23日(火)・24日(水) 中間テスト
26日(金) 3年生実力テスト
26日(金)～28日(日) 板野郡秋季新人大会